

平成25年度第9回奈良市幼保再編検討委員会会議録

開催日時	平成25年6月4日（火）午後3時から午後5時まで	
開催場所	奈良市役所 中央棟6階 第1研修室	
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の会議の運営について 2 奈良市の幼保再編に係る実施体制について 3 奈良市幼保再編実施計画（案）に対する意見募集の結果について 4 奈良市幼保再編実施計画について 5 モデル園の取組状況について 6 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・市立幼稚園園児数及び保育所待機児童数の状況について ・市立幼稚園での預かり保育の実施について ・奈良市子ども・子育て会議について 	
出席者	委 員	埋橋委員、亀本委員、重松委員、竹村委員、辻中委員、畑中委員、壬生委員、山本委員【計8人出席】 （古山委員は欠席）
	事務局	子ども未来部長、子ども未来部理事、子ども未来部参事、子ども政策課長、こども園推進課長、こども園推進課主幹、保育所・幼稚園課長、教育政策課長補佐、教育総務課長、教職員課長、子ども政策課職員
開催形態	公開（傍聴人1人）	
決定事項	会長に重松委員を選任し、副会長を埋橋委員とした。	
担当課	子ども未来部子ども政策課	
議事の内容		
<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の会議の運営について 委員の互選により、会長に重松委員が選任された。また、副会長に埋橋委員が選任された。 2 奈良市の幼保再編に係る実施体制について 3 奈良市幼保再編実施計画（案）に対する意見募集の結果について 4 奈良市幼保再編実施計画について 5 モデル園の取組状況について 次の資料を基に、概要と重点項目事業を中心に事務局から説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第9回奈良市幼保再編検討委員会（パワーポイント印刷資料）【資料1】 (2) 奈良市幼保再編検討委員会のこれまでと今後【資料2】 (3) 奈良市幼保再編実施計画（案）【資料3】及び幼保再編計画概要版（案）【資料4①】【資料4②】 (4) 奈良市幼保再編実施計画（案）に対する意見募集実施における意見の概要と市の考え方（案）【資料5】 		

〔質疑・意見の要旨〕

会長 パワーポイントですので十分に理解されていない部分もあるかもしれませんが、今日この議事次第に従いまして、ただいまの資料の説明を背景にしましてこの内容に対するご質問なりご意見をたまわるわけですが、大きくは幼保再編実施計画に対するパブリックコメントに対する奈良市の考え方を少し整理させていただいたところの案について皆さんにご意見をさらにたまわって最終的にはホームページにアップをしていけたらと、これに関わってそのことにとということでご意見をいただけたらというのがまず1点目です。

お手元に概要版をお示しさせていただいておりますけれども、それにつきまして丁寧な説明ということが必要ということについて、ご説明いただいたこと以外にも、検討すべきことといたしますか、留意すべきこと、意見すべきことがありましたらご意見をたまわれたらと思います。さらにこの実施計画の実施にあたりまして、検討が必要だと思われる部分にかかわって、みなさんのご意見がありましたら、ただ今から少しご質問等々を踏まえ検討、質疑応答をしたいと思います。それではどなたでも結構ですのでよろしくお願ひしたいと思います。いかがでしょうか。新たに立ち上がりました奈良市子ども・子育て会議のほうにも合せて会議の方にご出席いただいておりますので、それと同様に本委員会でも留意すべきこともありましたら合わせてご意見をたまわれればと思いますけれども。

E委員 パワーポイントで説明いただいた、資料1の5ページのこども園にする青和幼稚園と佐紀幼稚園のこの保護者への説明会についてはもう行われたということでしょうか？

事務局 そうですね。これで終わりではなくて今年度の決まったところがあればその都度3月まで実施していく予定です。

E委員 この6ページのこの下の部分でその説明会で出された主な声ということですか？

事務局 そうですね、この3つのモデルで説明会を実施させていただいて、3つで共通するような形で、どの園からのというのは確定して出していませんが多くの方がおっしゃっておられたことで協議する事項を取り上げさせていただきました。

E委員 これに対する回答というのは市のほうでされているのですか？特にこの通園バスの運行をどうするのかとか、あとは駐車スペースをどうするのかとかについて回答というのはされているのですか？

事務局 通園方法については、少し今保育所では保護者のご自身で送迎されている状況ですし、園によっては駐車場がある園と利用方法も違い、ない園もあります。幼稚園については徒歩を原則としていますが、幼稚園型の認定こども園については、たとえば左京幼稚園では駐車場を整

備していたり、通園バスを運行させています。その地域の立地とか保護者の様子などをじっくり聞きながら、どういう形の対応をしていけばいいのか、もうちょっとじっくりお話しながら考えさせていただく必要があるのかと思います。具体的にどうしますということは現在方針は決定していませんが、このあと保護者の方とも話し合いながら市の対応を考えていかなければならないと思います。

E 委員 通園バスは保護者の要望は高いと思うのですが、市としては何が起こるか分からないという状況で、できれば避けたほうがいいのかという風には思うのですが、それでは保護者の方が納得いくかどうかというところですか。

会長 引き続き検討が必要ということで、ここでもご意見としてたまわればと思っております。あわせて、同じことでも他のことでも結構ですので、他の方はいかがですか。

B 委員 全体的にこれを読ませていただいて感じたことは、まず計画の進め方については早くスピーディにしてほしいという意見と、もっとじっくりとしてほしいという意見の両論出てきていると思うのですが、もう一つ特に感じたことは、やはり不安の声が非常に多いと思います。さまざま、まだ決まっていませんが、職員配置であったり、障がい児保育・教育の内容であったり、あるいは子どもの生活環境であったり、3歳未満児の移行になったときのイメージであるとか。まだまだやっぱりわかりづらいというのが市民目線ではないかなと思います。もう一方で、しっかりとお金をかけるべきところはかけるべきだということはいろんなところに出てくるのですが、それに対して行政としても効率化も片方で図りながらということが詳しく書かれているんですね。イメージにはなるのですが、要は再編して行って、少なくとも市の施設が少なくはなりません。間違いなく。いろんな形で効率化してスリム化していくということになってくると思うので、これをするによって、よくなる部分があるのだということをしっかり打ち出して、たとえば障がい児の問題であったり給食の問題であったり、削ったお金をどこにどういう風にして集中的に投資するのか、財政的な裏付けも含め市民に還元していくのかということ打ち出さないと、この文章では、公立はお金が大変だからということが詳しく書かれており、どうしてもこの回答をそのままストレートに読むと、市が財政難だから再編していくのだな、幼保一体化して公立を減らしていくのだなというイメージになってしまうんですね。私は、子ども子育て会議にも出させていただいていますが、それぞれの施設をしっかり残して、その中で子どもを中心にもっと子どもの発達を保障していくようなことに力を入れるべきだという意見もそれぞれの団体からも出ていますので、そういう面も合せて、これをするによって、こうい

うスタンスで、こういうところをよくしていくんだということを、このパブリックコメントに対する意見表明のところからもわかるような感じで書いてもらったほうがいいと思うのですが。それぞれあまりにも具体的過ぎるので、逆にそこばかりに目が行くと、どうしても財政が大変だからしなくては仕方ないとかいうイメージに映ってしまう気がするのですが、あくまでわたしの主観ですけれども。

会長
事務局

いかがでしょうか。

なかなか、実際的には後から結果がついてくるところもあるので計画段階では具体的にお示しすることが少ないのですけれども、たとえば今先行して今までなかった幼稚園での預かり保育ということで預かり保育の担当の職員を付けさせていただいて始めていったところ等については、この事業の中でですね、こども園化はなかなかできないのだけれども一定のサービスは保障してやっていこうということでやらせていただいております。あとは私立の幼稚園につきましても夏休み預かり保育をされていないということが半分くらいの園でありましたので、少し調査もさせていただきますと、やはり人件費等々のことがあってなかなかということもありましたので、長期休業中の預かり部分の補助につきましては今年度、この制度を活用してどれくらいの園がやっていただけるかはこれからなんですけれども、幼稚園の補助につきましても、預かり保育につきましても奈良市のなかで今まで以上の形のなかで制度をさせていただく形が前段できているとかであったりとか、あと少し認定こども園につきましても先行しまして、青和と都跡につきましても子育て支援の教員を入れまして、0から3歳までの未就園の子どもたちに対する子育て支援も始めておりますので、そこも見ていきますと、両園とも100組以上の保護者の登録があって、非常にそのあたり認定こども園になっていく方向では、地域では感じていただいている部分はありますので、今おっしゃっていただいたことを含めて今現在見えてきているところで答えられる範囲はこの中で入れていけたらと思っております。

会長

確かに基本的に、保護者の方というのは、おそらく自分の子どもを安心して預けて自分自身が社会参画できるのかということに関わってのできるだけ具体的な回答が欲しいと。そういうことのニーズが高いということで、そのあたりの展望というか、そういうのがもう少し具体的に示していただきたいと、あるいはその議論に加わりたいというのでしょうか、あるいは回答をいただきたいのがご希望かなと思ったりもします。ただ最近の方向としましては、そうは言っても自助の部分で自分たちでもどう責任を持つのかという部分と、それからお互いに互助として近隣の方々の助け合いということも含めて、その上にとったの公助ですね、こういった一つの大きなそれぞれのレベルとい

うかそれぞれの立場での、子どもに対する社会的責任というのを果たしていかなければというのを含めて、さらに検討が少ないところについては今後議論を詰めていただければということで、引き続きまたお願したいと思います。いかがでしょうか？

F 委員 計画案の周知がなされていないのでは、というような意見がパブリックコメントのなかで出ているようなのですが、先程のご説明の中で、再編モデル園の対象地域であるとか保護者の方に対して説明会を実施されているということはよくわかったのですが、それ以外の今後再編に関わるような地域であるとか、そこを地域限定せずに子育てに関わっておられるいろんな方に対してこの計画の内容を周知していくような取組というのを、たとえばもし実施されておられるのであればその部分お教えいただきたいですし、今後こういうことをしていきたいというような案があるのであればお教えいただいてよろしいですか？

事務局 なかなか、その再編地域については具体的の中身がありますので、今保護者の説明ということについても数回させていただきながら、先程も出てきました意見についてもひとつひとつ返していくと、最終的にはこういうところがあと解決すればということで数が絞られてきて今最終そこを調整させてもらっているような状況なのです。けれども、他のところにつきましてはなかなか全体につきましてはほんとにまだできていないところで、少し進捗状況につきましては、竹村自治連合会長にご協力いただきながら、自治連合会の定例会の中でですね、こういう進捗状況であるとか、民生児童委員さんの定例会の中で、こうしたところ進んでいますよということにつきましては、市全体レベルの中でお知らせしているところはあるのです。けれども、今子育て家庭とか実際にお子さんをお持ちのところにつきましては具体的に説明をするということについての機会が今のところないような状況できておりますので、その辺の周知の部分については必要なのかなと、ただ、この再編の計画であるとか、パブリックコメントを実施しておりますことにつきましては、保育所や幼稚園とかを通しまして、そこに通っておられる保護者の方につきましては、出来る限り周知をいただくようにご協力いただいております、そうした中からも少しご意見をいただいているような結果なのですけれども、どこにも通われていない未就園の方とか、これから子どもを育てていきたいなという方についての情報提供についてはできていないというような状況があるのかなと思っています。

会長 横浜市の例でも、結局条件を整備すればするほどまた次の希望が出てくるというようなことをずっと繰り返していることも事実でございますので、どういう風に情報提供をしていくのかということのもなかなか

一つの課題かなと思っております。そういう意味で、子ども未来部のホームページはきちっと統一すると多少変わってきたのですか？保育所・幼稚園事業が一括したとなったときに、子ども未来部の奈良市のホームページの提供は、教育委員会は見なくてもよいというような形であちこち見なくてもよいのですか？

事務局 ホームページの状況につきましては、今まで幼稚園と保育所と別々に載せていましたところにつきましては一括して見れるような形になってまいりました。私立幼稚園につきましては管轄が県であったということで市のホームページに載せていなかったのですが、私立の幼稚園についても市のホームページに載せてという形で出来る限り集約できるような形で情報の一本化ということをさせてもらっています。ただ、4月から始まった段階ですのでそのあたりであるとか、“子育て@なら”ということで少し子育て情報を統一したホームページをこの4月から新たに開設させていただきまして、今まで載せていなかった保育所の空き状況というのを新たに情報提供させていただくような形で整備させていただいています。

会長 その相談窓口についても新たに設けられたとかさらに充実されたとかは？

事務局 相談の窓口につきましては、組織体制でさせていただいたところもありますので、保育所・幼稚園課という名前になって、見れば簡単にわかるような名前にはなっているのですけれども、これまで幼稚園の入園関係は教育委員会であったところと、保育所の入所は保育課というようなところは、一括をさせていただきまして、市役所の1階にまとめましたので、住民票の手続き等を含めてあちこちまわらなくてもよいように一本化できるような形で4月からさせていただいています。

会長 そうすることで、少しでも住民サービスの効率化ということも含めて実際に今すすめておられるということで、そういうことをしているということも安心を提供する材料かもしれませんので、よりそういったことをPRしていくということで、具体的に相談窓口というのも安心材料になるのではないかと思っております。他にいかがでしょうか？

G委員 資料に関してなんですけれども、これは公表される予定ですよ？パブリックコメントとそれに対する考え方を示すということは大変な作業であると思うのですが、一対一対応で答えるというのはまず不可能であると思います。ただこれを見ていると、先程も両論併記というようなご指摘もありましたけれど、対応はやっぱりわかりにくいですね。左側に書かれているのが意見とはいうものの、少し分類してみると、賛成意見と反対意見があると思います。それから純然たる質問もあるんですね。さらに要望もあるんですね。だから、賛成意見、反対意見、質問、要望、もしかしたらもう少しあるかもしれないんです

けれど、これをカテゴライズしてまとめることができたなら、右側の市の回答の、何に対してこういう考え方をされているのかがもう少し明確になるのではないかという気がします。難しい注文をつけているのですけれども、意見を出した人は、自分の出した意見についてどう回答を出してくれるのかと思って見られると思います。自分のには何も答えてくれていないじゃないかという印象を持たれてしまうのではないかと思うんです。ですから少なくとも賛成意見、反対意見、要望、質問がある中で、その中で大きなくくりで市がどう思っておられるのかというのを、整理ができるといいなと思います。しかし、それをして下さいというのは大変な仕事ですが、意見としては申し上げたい。例えていえば要望があった給食が実際始まった場合でも弁当は食べていいのかということについても、市の回答としては市の給食を食べていただきたい、なんですね。だから、こういうことが見えるように回答していただきたいと。そういうようなカテゴリーとして一部質問だけでなく、大きなくくりで回答を整理できないかなということなんですね。ほかいかがですか。

会長

B委員

イメージというところでは、去年の8月に左京認定こども園に行かせていただいて、あの時は夏休みでしたので、お子さん1人しかいらっしやなくて、様子というよりは施設を見させていただいたみたいな感じでしたけど、特に今まじかに再編が迫っているところのエリアの保護者の方であったり地域の方であったり、あるいは建物とか施設が増えていけばオープンキャンパスではないですけども、これから子育てしようと思っている人達が、こども園って「どんなところ？」って見て感じていただけるような、保育所でやっている園庭開放のような形で、一日認定こども園体験みたいな企画をするなど、もっと市民の方に理解をしていただく取組を今後は具体化していけばより身近に感じていただいて参考になるのではないのでしょうか。特に再編がほんとに迫っている保護者であったり地域の人にとっては切実な課題でもあるし、だから具体的に見ていただくと、それで安心していただくこともできると思うので、その辺をぜひ具体化していただければかなと思いました。

会長

いかがでしょうか。今オープンキャンパスというのはどの学校においても特に国公立に関わらずさかんに行われておりますので、当然場合によっては給食も食べていただくというのも、安心を与える一つの方法かもしれないなと思いますが、何かそういったことでいかがですか？

事務局

今の幼稚園型の認定こども園や保育所型の認定こども園につきましては、未就園児の親子登園についてさせていただいていることにつきましては、地域外のところからもたくさん登録していただいております。

す。0歳から2歳、3歳まで来られておりますので、その方たちがまたそこへ入園という形につながってまいりますので、従前そのところに参加をしていただいて、園の様子などを見て頂けますし、園も親子登園の施設だけでなく園庭も含めて保育室も含めて見られるような形でしておりますので、ある一定そこで参加をしていただくとわかりやすい形になろうかなと思いますので、逆に今やっております未就園の親子登園なんかを宣伝させていただくということで、少しまた考えさせていただけたらと思います。

会長 そういった意味では、しみんだよりだけではなくて、関わるところの方向にもきちっとPRもよろしくお願ひしたいと思います。他にいかがでしょうか。

H委員 この広報をお示ししていただいた場合には、それぞれ思っておられることを文章にするというのはやっぱり非常に難しいのかなと思います。やっぱり答えられる側も思い通りになかなか伝わらないということも、文章だけでは難しいところがあるのかなと感じています。で、学校規模の適正化と違いまして推進協議会というのを設けないということで、もうこれは幼保再編を進めていきますということを詳しく丁寧に説明していくということだと思ふんです。それでやっぱり反対意見というのがどうしても出てくるのはこれはもう仕方ないと思うのですが。奈良市の場合、幼稚園の数がそれだけ園児の数からして幼稚園の数もこれだけいったし、ただ少子化も進んできたし、施設も老朽化してきたしということで、これはもう仕方ないと思ふんですが、今は再編しながらさらに次を目指していつているわけなので、反対意見は反対意見として聞かなければならないと思うのです。まず意味を持って幼保再編をしていくというような形で、しっかりと保護者の方、地域の方に説明しながら進めていく、というのがやっぱり大事なのではないかなと思います。そして、PTA連合会の中の保護者の方の意見としてもやっぱり3歳児とか先生方の加配とか、教員の充実とか障がいのある子どもさんのための教育・保育というのは上がってくるのですが、今こども園になればそれがやっぱり解消というか、こども園にしていくとそういうことが全て解消されていくんだというような考えで、保護者の方もそれであればやはり認定こども園やなというように考えを持っていただいている方も増えてきています。事務局がおっしゃったように、未就園児のお子さんも認定こども園に来ていただいているという方も多いということで、就学前の子どもの教育・保育というのが認定こども園で充実したものになっていくということを、伝えしっかりと説明していけたらいいのではないかと思います。

会長 他にいかがでしょうか。

D委員 もうすでにこども園を始めておられるので、大部分の方はわかってきているかと思うのです。ただ、先程も話にあったかと思うのですが、心配している人反対する人も出てくると思うのですが、市の方で計画を立てたものは丁寧に進めておられると思うのですが、計画通りにどんどん進めていかないと、一人や二人の意見に耳を傾けていたら、これはもう絶対に進んでいかないと僕は思っております。幼稚園やあるいは保育園の護衛より、学校そのものを護衛しようということをやっているお年寄りもいてここがなくなると、といういろんな意見が出てくるのですが、幼稚園や小学校の子ども教育という部分から見るとやっぱり丁寧にやっているなというのを外から見て思っておりますし、専門会を開いても反対という意見は何も出てこないですし、やっぱりどンドンと進めていった方が、計画を立てて1年遅れました、その理由はこんな理由ですというようなことで親に説明があるようなことではなく、市が責任を持ってきちんと説明をしてきちっとやっていけば、ただ難しいのは保育園でもよそから来てますよね、校区という問題がないから、ここが非常に難しいところなんだと僕は思うのですけれども、丁寧に話をされて納得をしてもらいながら、進められたらどうかと思います。1年延びます、また延びますよでは、何をしているのかという結果になってしまうと思いますので、そこら辺が気になるところです。

会長 具体的には今回この再編実施計画の概要版というのを作っていただいて、お願いをしたのは、資料4①の方ではどちらかというと全体で組織がどうなるかという組織的なイメージなのです。自分の子どもがどうなるのかということで、資料4②の方ではわたしは0歳から2歳の就園児を持っているんだけど、どうしようかというところのような、就労の場合はこんなことができますよとか、相談をするにしても自分の相談の方法はこういう形でありますよとか、あるいは自分自身が検討すべき項目としてはこういうことを検討すべきとか、さらにその結果として保育料はどうなるか、というような不安とか、それについては相談の窓口でしっかりやっていただきたいと、そういうようなプロセスを具体的に示されたらどうかな、というお話をさせていただいたことはあるのです。おそらく、奈良市に初めて来られた方ばかりではないかなとは思いますが、そうはいつてもどこでどうやって何を聞けばいいのかということ、あるいはどういうことをすればより安全安心を感じられるのかということが見えるようなプロセスというのを出来るだけ表現できればなということについて少しお話させていただきたいのです。こういったことでいいのかということを見なさんのご意見を賜ればと思います。それからもう一つは、やはり前からずっと、小学校以降のときの再編の問題も含めてですね、結局

過小規模の幼稚園の対応をどうしようかという問題で、それぞれの施設の単なる効率化だけでなく、より予算的なものも集中させていくことも含めて、みなさんのご意見もそれぞれ方向性として具体的なところへ集約できればと思ったりもしています。そういうところも含めてご意見を賜ればと思いますがいかがでしょうか。G委員のご意見がありました、市の考え方の示し方ですけれども、これはこれとしてあった上で、もう一度まとめたところで、ということでもいいんですね？

G委員 そうですね、何かこう、うまく枠とか色分けというか、関わりをといえますか。

会長 場合によっては給食は食べてもらうけれども、そのお子さんにアレルギーとかいろんな一つの課題があればそれは相談しますよ、ということで、ある程度一つの課題がそこは相談とかですねそういうところを設けて、具体的な対応の仕方を考えていくとか、一つの結論でこれしか対応しませんよと、実は保育料についてもなかなかまだ、見えませんよね、国のほうが決定がなされていないから、しかしそんなに大幅には増えないでしょうということぐらいは言えるかなと。2倍も3倍もにはならないですよ、いくらなんでも。だから今のところはいくらかいかかってますよと、それは示してもいいからそれについて多少増減するかもしれませんと。そんなところを示した場とかでもいいので、通園バスについても、場合によっては通園バスが必ずしも整備できなかった場合は、車において送迎ができますよとかですね、いわゆるその努力をしますよとかですね、通園に関わる安心感とかですね、たとえばわたしの近くの幼稚園なんかでは警察といたちごっこをやっていますよね、とにかく道路に車を置いていかに子どもを預けて早く車を出すかという、常に大変な感じで、今の幼稚園はまったく、幼稚園への車の乗り入れは駄目なんですか？ 確か。

事務局 幼稚園は基本的に徒歩または自転車となっています。

会長 現実には、働きに出られる方が子どもさんを途中でということが多くですから、そういう現実的な対応というのを考えると、できるだけその方向の検討も合せてやっていますということ、示された方がいいかもしれませんね。どうしてものところについてはご相談くださいというような形になるかもしれませんが、いかがでしょうか。

G委員 資料4について、これが今回一番わかりやすいものですよね。しかし、行政だからというわけではありませんが、難しいんですよ。資料5の市の考え方なんかを読みましても、やっぱり漏れなく言おう、正しく言おうと意識される余りに、業界用語に頼っておられるところがかなりあるなという気がするんですね。結果としてそれってどういう意味なのと一般市民の感覚になってはいないのかなという気がします。こ

れこそ、資料4①とか4②は今申し上げましたように、考え方以上に一般市民としてこれを見たときに、ああこうなるんだなというイメージが湧くような手助けとなる資料であるはずなのですが、これを読んでいると、例えば質の高い教育・保育を一体的に行い将来にわたる人格形成の基礎を培いますと書いてあります。少なくとも市民感覚の日常会話ではこのようには言いませんよね。また、一番下のところに、保護者の仕事の状況により施設を変える必要がなく、子どもにとって環境が変わるようなことがなくなりますとあります。これも、保護者の仕事の状況により施設を変える必要がなく、というのは何のことかわからないですね。市民に対するアピールとしての書き方ではないなという印象をどうしても受けますね。それからこの図も工夫して色々な色も使われているのですが、この矢印とほかの色の使い方なんかも含めてそうですけれども。その図がほんとに親切な図なのかというところとわかりにくいなという気がします。

会長 いかがでしょうか？市民目線で見えていただきまして。こういうポイントを入れて示すというのはなかなか難しいのですけれども。要するに、自分の仕事が変わっても継続できるんだよという言葉を使ったらいいのかもしれませんが、少しそういうことを多少オブラートに被せながら書いておられるところがあるかもしれません。

G委員 あまりいい加減な表現はできないとは思いますが、リスクが発生した時の緊急一時保護的な受け入れや福祉的配慮の必要性の高い、とかやはりものすごく難しいです。

会長 おそらく、病児保育的な要素で子どもが急に熱を出したらどうするかというようなところであるとは思いますが。そういう意味では子どもが熱が出た場合とかですね、そういうことも説明としてはあれば安心はされるかなと思いますね。

E委員 G委員のおっしゃったことに追加してなんですけれども、この市のパブリックコメントの考え方2ページのところが読んでいてもよくわからないという感じで、2ページの市の考え方というところの2つめ3つめ辺りからすごく難しいことが書かれていて、これが左にある意見の何に答えているのかがよくわからなくて。真ん中あたりには、市の財政状況が3100億円とか書かれていますが、たぶんそこまでは求められていないという感じがします。比較的好く書かれていると思うのですが、時々ほんとに難しい、結論に辿り着く前々段階あたりから書かれているので難しくなるのかなというところもあって。ただ、この意見に一つ一つ回答するというのも難しいことなので、その辺りが書き方とかで工夫しないといけないと思うところです。先程G委員がおっしゃっておられたように、せっかく意見を出したのに自分の意見に対して全く触れられていないとなると、何のために意見を出

したのかわからないということになると思うので。単なる質問とまた意見とは違うと思うので、市の考え方のところはもう少しわかりやすく書いた方がいいと思います。

会長 はい、何か。場合によっては保護者の方に読んでもらうというのもしいかもしれないですね。

事務局 資料5につきましては、再度整理をし直してもう一度お示しさせていただきますと思います。

会長 できれば他のみなさんにも見ていただいて、これは難しいよというところがありましたら気軽にご指摘していただけるとありがたいのですけれども。市の厳しい状況の中でも最大限努力をしたいと、できるだけ安心な、そしてまた私はいつも言うのですけれども、とにかく奈良市の人口を増やさないとですね、とにかくそのためには子どもさんの問題というのもきっと一番大きい問題で、安心して預けられるところがあれば奈良市に住むよという気持ちを持っていただきたいと思います。職場かあるいは住居かどっちかとにかく安心できる状況があるというのを具体的に示すというのも大事なかなと思いますので、具体的なご指摘をいただければより幸いです。他にいかがでしょうか。あの、ポンチ絵の資料4①と4②については、後ろは同じなのでどちらかが省略になるのですか？これは市のホームページに示すときはこの2枚ともあがるのでしょうか？

事務局 最初の説明不足で申し訳ないのですけれども、一応これを見ていただいて、資料4①と4②の違いは、表面右下の図示、幼保再編一体化の図示の部分です。

会長 ですよ。どちらかが上がるということですよ。

事務局 そうです。

会長 なるほど。どちらがいいかというご意見をいただいてもいいわけですね。2つともではなくてどちらかが上がるということで、それにしても言葉が難しいというご意見はありましたので。市の立場からいいますと、こう再編しますよというのが、市の立場なのですけれども、保護者の立場からいいますと、わたしの子どもは安心して預けられるのかなと考え、書きぶりの方向性が違うのかもしれないなと思わなくもないですが。

B委員 どちらですかと申し上げますと、保護者目線で言うと資料4②の方がわかりやすいかと思います。こども園自体が具体的じゃないですか、自分の子どもが2歳だとどこに入るかとか、3歳だとどこに入っているというのがわかるので、資料4①はあまりにみきれいなので、イメージとしてはいいのですが、より具体性には欠けるのかなというのがあるので、資料4②をベースにされた方がいいのかなという気がします。

会長 この絵で自分の子どもたちの判断があれば、実はそういうことによって子ども子育ての支援はちゃんとやっていますよというのが、後ろに書かれていてもいいですね。

B委員 保護者としては細部などところは見ませんからね、図示しているところが、この矢印を逆にとっていって、ああそういうことなのかということと理解しますから。自分の子どもはどこに入っているのかということのまず見ますから。

会長 ここで見えないのが、通園の在り方とかでしょうか、例えば。結論が出ないことは検討でもよいとは思いますが、今のところは。全く対象にしてませんよというよりも、検討していますとかご相談くださいという書きぶりでもいいのではないのでしょうか。

A委員 先程おっしゃられたように、資料4①か資料4②のいずれかということと言えば、資料4②の方が、自分の子は1歳だけれど、とか、ぱっとくいつけると、くいつけるといって表現が悪いですが、ポイントがここに絞られて、見やすいのではないかと思います。3本の矢とかアベノミクスではないですが、3本あるよと、イメージがあつてよいと思います。上の矢は4本目かどうかコンセプトはわかりませんが、3本の矢というときに、3つ頭がありますよね。子ども本位の、就学前児童の、地域の子育て支援とか、これがもう一つ分かりづらいのではないかと思います。思ったのですが、計画の実施によってめざす子ども・子育て環境とありますが、奈良の子育てとか、目指す子どもってどこにいるの、という感じです、言葉として。子ども自身にとってよいことは何か、大人にとってか保護者にとってよいことは何か、地域にとってよいことは何か、ということの方が子ども自身、保護者にとって、地域にとって、の方が、わかりやすいのではないかと思います。子どもにとってよいと言えば、就労にかかわりなくということ言えば、同じ地域の子どもが保育所と幼稚園の別々に通っていたところが、小学校に入る前から子どもの社会が形成できるとか、これまでの保育所のよさ、幼稚園のよさを職員も投入して職員体制も整えることで、よいところを補える保育が提供できる、ということだと思うのです。人数も増えるわけですよ、集団生活がとかいうような、わかりやすくイメージできるような子どもにとってよいこと、保護者にとってよいことと言えば、自分が勤めていようが勤めていまいがということがあるわけですよ。いろんな状況にも対応できると。それと子育て中の親子の居場所があるということも保護者にとってよいことに入るかと思えます。地域にとってよいことと言ったら、リスクが発生した時とかほんとに困っている人が駆け込める場所とか、何かこう、はっとここに書いてあることがもう少し具体的にこういうことかと市民にとってイメージできるような書き方をしてい

ただけたらということだと思います。通園バスとか何とかというのはまだそういうのと言える段階でもないですし、この一枚もので加えるには細かすぎる内容であると思うので、なるべく細やかな地域性に応じたサービスも検討しているとか、そのような書き方で、デメリットもあるかもしれませんが、なる方に目を向けて頑張っているというイメージを伝えるという、そういうところだと思います。デメリットもありつつも、こういう方向に向けてということで、3本の矢のところを、例えば、子どもにとって、保護者にとって、地域にとってというような、馴染みのある言葉で書いていただけたらと。地域の子育てと言われても分かりにくいと思いますので、地域で困っている人のために、と書かれると、そうだなという共感を得る表現になると思います。3本の矢の3つというのはよいと思います。これが4つも5つになるとわかりにくくなるので、3つにまとめているのはよいと思います。それからこの一番下の段のことですが、それぞれのイラストの部分は保護者からの言葉で書くなどはどうでしょうか。この今ある言葉は行政の人が言っている言葉ですよ、吹出しになっていますけれども、このイラストの人が言っているわけではないですよ。通園していなくても・・・とかではなく、子どもが園に行っていなくても近所の人達と仲良くなれるのねとか、なれるのねというところも、セリフというか、そうすると次のところの3人家族のところも、友達が増えて小学校へ入ってからもいいんだというような、この人たちが言っているような書き方にすると、さらに、この枠も四角ではなく雲形にすると親しみがもてるのか、そうすると入り方も違ってくるのかと思います。資料4②の方が0~2歳でどこにあてはまるとか自分のところを見た時にわかりやすいかと思います。それから、就園児と未就園児で色を変えるほうが分かりやすいのではないのでしょうか。

会長

A委員

保護者の方は未就園と書いてもわからないかもしれませんね。
そうですね、それも行政目線かもしれません。それから、就労ありと就労なしというの、何が、誰がというの、わかりにくいかと思います。

会長

A委員

上のところにコメントは書いてありますが難しいかもしれません。
子どもの状況で色を変えてみるというのも一つですね。

会長

事務局

こういったところについても少しご意見があればお願いしたいです。
限られたスペースの中で書いておりますので、どうしても書くことが多くなってしまい、ご指摘のとおり、行政マンが書いておりますので、行政目線になりがちですので、ご指摘いただいたところを反映して修正を加えていきたいと思っております。

A委員

一番下の段は保護者からの言い方が多いですね。この概要版の中でいいなと思うのは、子どものイラストが非常に多いところですね。子ど

もの立場から何か言ってもいいのかもしれませんがね。

会長 友達がいっぱいできるとかね。何か。

A委員 子どもからの立場みたいなですね。

会長 そういう意味では子ども・子育て会議の方からも子ども目線は大事にしてほしいということも言われていますので、そういった子どもの具体的な対応というのもありますね。

A委員 それからこの概要版の一枚ものとパブリックコメントの概要を読んでいて、これまで奈良市の保育に従事してきた保育士の先生や幼稚園の先生からの立場からの発言というのはほぼないですよ。さらに入れるのは難しいかもしれませんが、保育所は従来の家庭で損なわれつつあった家庭の機能を提供しているという側面がありますよね。そこでよりそういう側面を経験されてきている、一方幼稚園ではこれまで教育ということで留意してきたこととか、それぞれの保育のよさをこども園になると一緒に働きだすわけですよ、そういうところを培ってきたことを一つの子育ての知恵として奈良市の子どもたちのために保育・教育にあたりたいという、そういうところがあってもよいのではないのでしょうか。こども園がいい、保護者がいい、そこに先生というのがありますから、それも欲しいような気がします。ないのも切ないような気がします。こちらの、資料5のところ、まとめづらいとは思いますが、質の高い教育・保育についてとか、こども園の設置及び子育て環境についてもすっきりわけきれていないというのと、何年も前から先生方が一緒に研修をしたりとか、そういうことがあるわけですから、そういうこともこの再編に向けて着々と、財政面というかそういうことでやっているわけではないということ、子どもに対しての教育・保育の場でも、よりよいこども園の在り方、こども園で提供する保育の在り方についても、実際にかかわる先生方の立場からも研修を積んで準備を重ねてきている、ということも伝える必要があるのではないかと思います。

会長 具体的な改定のご意見もいただきましたので、少し検討いただけたらと思います。他にいかがでしょうか。

H委員 こども園がこんなところか、こども園のイメージは別にあってもいいのかなと思います。今までの基本計画とか実施計画の必要性はもちろん箇条文章で載せることも必要であると思いますが、一目でこども園ってこんなところなんだというもので、今A委員がおっしゃったように、実際に預けておられる保護者の方の声をそういうところで載せていけば、実際に動き出しているわけですから、それを開けばこども園のイメージが湧いてくるというような感じになってきたらいいのではないかと思います。一番大事な3歳児のところも、3~5就園児となっているだけですので、見たら3歳児からとすぐわかるように色分

けというお話もありましたけれども、ほかにもお仕事をしてもこども園に預けることができるんだという形で、この子ども像がメインになっているよう感じのものがあってもいいのかなと思います。

会長

確か前にいただいた中に、何時から何時までというような形でもう少し具体的なこども園の一日の動きというようなものもありましたよね。そういうイメージの方が具体的にイメージ化してその中で0歳から2歳児の方がこんな動きをしているというものとか、そんなイメージであとあとあった方がいいなと思いますね。一日の動きみたいなものが捉えやすいかなと思いますね。

A委員

中をなかなか読みづらいですよ。これは詳しくはウェブでというような内容ですよ。ここにはこども園の一日の生活を書いて、朝やってきたときにこんな風にしていますと、そしてみんな一緒にこんな活動をしていて、お昼ごはんは栄養価やバランスのとれた給食を提供しています、アレルギーにはちゃんと個別対応をしていますとか、すでに市立認定こども園があるわけですから、それこそ具体的に何時くらいになると何をしていますとか、やはり保護者活動でも子育て支援で入って来られるんだいうところもイメージが湧くような、今わかっている子どもにとって楽しそうなのか、よりよいようなことを写真など示せると、そこがわかるかと思います。こども園に入ると何をされるのだろうかという、そうではなくて、幼稚園や保育所のよいところが一緒になると、一緒になるといろいろ出てくる不安もあるかもしれませんが、奈良市としてはよいものを目指しているのだということ、写真で表すと、市民の方から見るとなんだかよさそうかなと希望を持てるような内容にすると、一枚ものでばしっと心を掴めるというか、よくわかっていただけではないかと思います。

B委員

ちょっと一枚ものというのは厳しいのかもしれませんが。事務方としては今のお話を総合的に考えた時に、あえて一枚ではなく二枚にして、こども園を中心としたものと、生活を中心にしたものの二枚で構成してもということで考えないと無理があるのかなと思います。

会長

どうしても欲しいのは、保護者はわたしはどうしたらいいのというのが欲しいですよ。わたしはどうすればわたしの条件に叶った選択ができるのかという、何かそういった、相談する場所でもいいです。何か具体的なイメージを、まさに保護者目線と、こども園の一日は子ども目線みないなものですよね、それから、行政としてちゃんとやっていますよという説明も裏側ではいるわけですから、それはあってもいいのではないかと。そういった根底的なものにある意味では市の考え方を語らせると、場合によっては細かいところは省けるかもしれませんが、そんなことで、できるだけ今の市民の方に細かいところはご相談するでもいいのではなかとありますが、イメージはきっちり持

っていただいて、奈良市はこんな努力をされていて決して横浜市にも負けないというようなことについても、具体的に提案できるのではないかと僕は思っています。他にいかがでしょうか。

F 委員 再編計画の概要版という言葉にあまり捉われ過ぎなくてもいいのではないかと今までの話を聞いていて思います。とはいえ計画の話もしなければならぬので、裏側の一枚には計画のことをきっちり要約して書きましょと、表の一枚目ではやはりみんなが興味を持つというか、一番関心を持つ、サービスどうなるの、こども園ってどんなところなのということだけをきっちりわかりやすく説明をして、A委員がおっしゃられたいろいろな工夫をしていけば、サービスがわかれば納得される方と、そこに至るまでの取り組みをきっちりされなければならない方だと多分裏面もご覧になるという、使い分けもできると思いますし、この資料を基に説明会等をされるにあたって、この資料が使いやすくなるかと思しますので、概要版ということで、どうしてもこの実施計画案をいかに圧縮するかということを考えてしまいがちになるかもしれないのですが、そこはあまり捉われずにとるともう少しわかりやすくなるのかなとお話を聞いていて思いました。

会長 ありがとうございます。そろそろ予定していた時刻になるわけですがけれども、まだ過小規模の幼稚園等々についての検討については十分に行われていませんので、引き続き次回以降お願いしたいと思っております。ある意味ではより重点化を図るとか、決して行政的効率化ではなく、子どもにとっても安全・安心な希望の保育あるいは教育サイズといったことも含めてですね、一つの奈良市の方針というものに対してより説明ができるようなものというのを出させていただければと思っております。そういった意味で、少なくとも子ども目線と同時に親目線というか、そういった目線の回答の示し方あるいは今後の方向、あるいは自分にとってどう判断したらいいかという支援の示し方というのを今日ご検討いただいたと思います。それではこういった形で申し訳ございませんがさらに内容については引き続き検討いたしますので、もし後でお気づきがありましたら、事務局の方にメール等々でもご連絡結構ですし、出来上がったらまたメール等々で各委員のみなさんにお送りいただけたら、また検討を加えていければと思っております。

それでは、今日はここまでの議事にしたいと思しますので、次回以降含めて事務局の方にお返ししたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。